

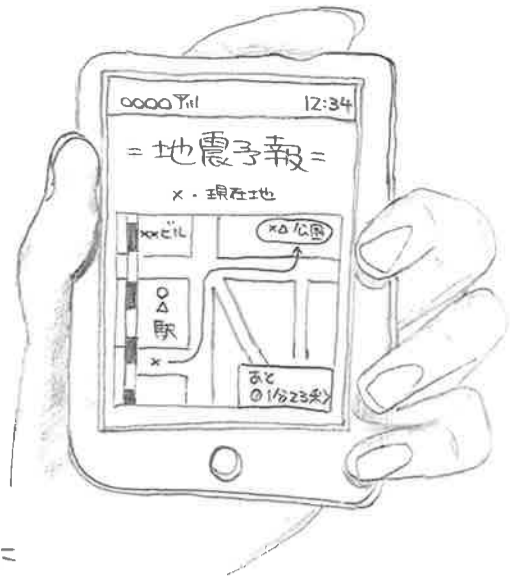
# = 地震がくる前・また後の対策案 =

## 地震の対策案

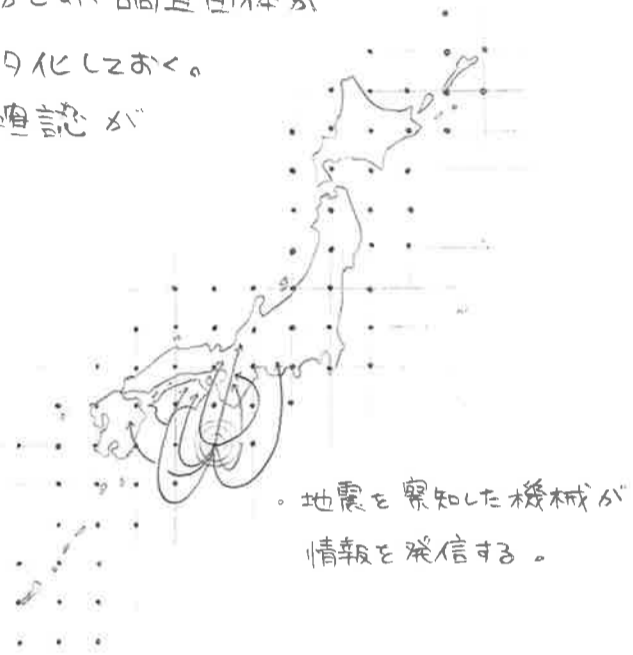
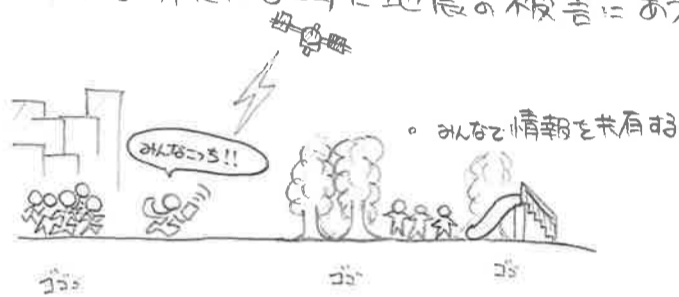
まず、地震を予知する機械がもっと正確にすばやく反応できるようにする。  
日本は地震大国なのでこのような機械をつくる研究をもっと進めるべきだと思う。

この機械が実用的なものになり、また、その機械を日本のまわりを格子状にする。  
そこからキャッチした情報はリアルタイムにネットワークに流す。

大きな地震がくるのがわかると、震源に近いところにある地域のテレビ、携帯、カーナビが同時にその情報をキャッチし、危険を知らせる。たとえば、全ての機能が一時的にストップ、ブザーがなったり、画面が点滅するようにする。GPS機能のついている携帯、カーナビはすぐに行くことのできる安全な場所が表示される。この安全な場所はあらかじめ調査団体が地盤のかたさ、上空からの落下物の有無、その場所の広さなどを調べたデータ化しておく。データの最新版はインターネット上に公開できるようにして安全な場所の確認ができるようにする。このようにすれば外にいる時に地震の被害にあう可能性が低くなる。



GPS機能のある電子端末の画面 (空想)

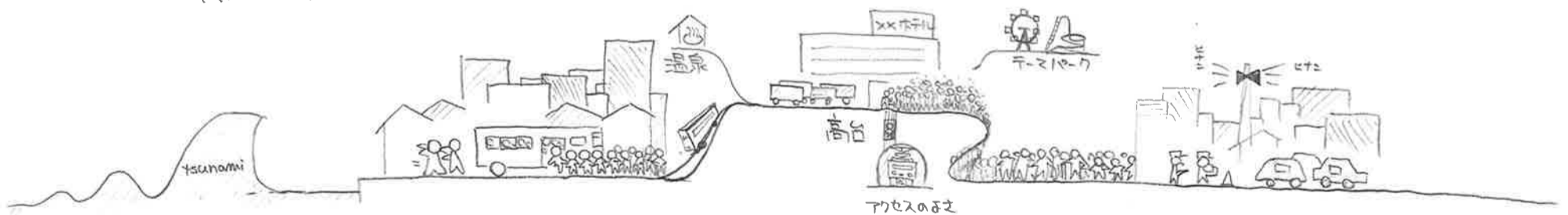


## 津波の対策案

地震がおきた時、それを察知した機械が海上のものがあったら、津波がくることを、地震の時と同様の仕方で知らせる。  
地震がおきた時に合わせて発信するのでもいいと思うが、

動揺や混乱のもとになる恐れもある。

地震がおきたらすぐに警察が出動し、交通の整備をする。バス以外の車の走行は禁止する。(事故防止)  
津波が来るのが確実なところではバスなどに人をのせて高台に避難させる。  
特に大都市では車庫にいるバスも随時発車して多くの人を避難させる。  
バスの停車場所はあらかじめ決めておき、津波の情報に続いて発信する。



限られた時間内に高台に避難する

## 震災後の対策案

震災後、家をなくした人たちはどう、公民館や体育館の避難所生活をしない。

仮設住宅も建てるのに何ヶ月もかかり、その間に避難所の衛生はどんどん悪くなる。

これを防ぐには高台にホテルを設置するのはいいと思う。都市部ではアクセスのよいところに安く泊まるようにする。

また部屋は常に3割が空室になるようにし、いつでも入室できるようにしておく。

さらに部屋の手入が行きとどくように、たとえば最初のお客さんが101号室なら、そのお客さんが帰ると次に王さんは102、その次は103、次は101というように、3部屋ずつに分けてサイクルさせる。そうすればすべての部屋がまんべんなく使用されて、

女子部屋には埃が、男子部屋にはゴミの巣が、ということもなくなる。

アクセスが悪くても近くに観光スポットがあったり、娯楽施設があったらいいと思う。

とにかく、このホテルのいいところはいつでも入室でき、しかも安いということにあるので、この施設を維持するためにはお客さんを絶やさないことがとても重要になる。